

甘平果実の硬化症対策

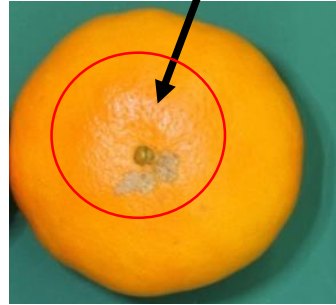
甘平では収穫時に果頂部が硬化することがある。これらの果実は8月頃、かさぶた状の症状が見られる。これは「ホウ素」欠乏が原因で発生。ホウ素剤の1000倍液を満開30日目と50日目に散布すると硬化症軽減効果がある。堆肥の施用による土づくり等基本管理が重要。

症状

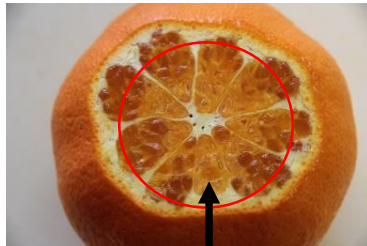
果皮の症状

かさぶた状の症状

果皮が赤くて硬い



果肉の症状



白くてぱさぱさ



す上がりのような症状

硬化症の程度と葉中のホウ素含量

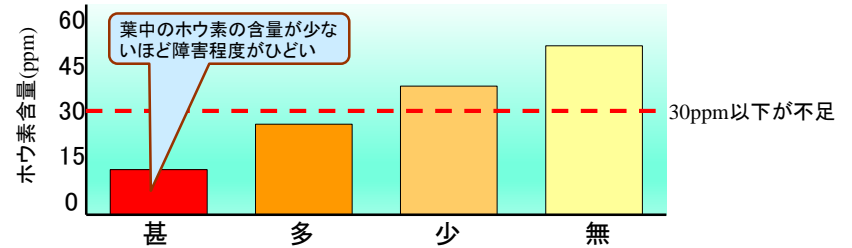


図 硬化症の程度と葉中のホウ素含量

ホウ素剤の散布程度と葉中のホウ素含量

表 葉中のホウ素含量の増加

散布濃度	散布回数	ホウ素含量の増加量 (散布後-散布前)ppm
2000倍	1回	12.5
1000倍	1回	14.4
1000倍	2回	21.5

1000倍液を2回散布するのが葉中のホウ素含量の増加量が大きく欠乏症対策として効果が高い

調査日：散布前 平成25年7月17日
散布後 平成25年8月23日

ホウ素剤の散布と硬化症の発生、果実品質

表 硬化症の発生、果実品質

	硬化症発生率 (%)	糖度 (°Brix)	クエン酸 (g/100ml)
ホウ素剤散布	7	13.8	1.29
無散布	15	13.5	1.18

ホウ素剤散布日 平成25年7月15日(満開55日後)

ホウ素剤を散布することで硬化症の発生を抑制できる